



# 東 俣 野 10月号

東俣野小学校 学校だより 平成28年10月 3日

今回は2つメッセージを・・・。

校長 村田幹男

## 授業参観・懇談会について思う

担任に聞くと、授業参観当日は、「今日はお母さん来れるんだよ。」「先生、5時間目の授業参観はまじめにやるからね。」・・・といった子どもたちのさまざまな声があがるようです。子どもにとって、授業参観に家族が見に来てくれることは、とてもうれしいことなのです。

授業参観の時間に各クラスの様子をのぞいてみると、やはり子どもたちの気持ちが表れているのが分かります。ふだんは私語が多いのにだまって取り組んでいる子、いつも以上に集中している子、緊張している子。いい姿をがんばって見せようと、みんながんばっています。ですから、ろうかにいられる方を見ると、私も気になって「どうぞ、中へお入りください。」と声かけすることもあります。教室の後ろがいっぱいになると入りにくいといった気持ちも分からなくはありませんが、入っていただければ、みなさん同士で場所は譲り合えると思います。せっかく来られたのですから、ぜひ、お子さんの様子も、クラスの様子も見るところで参観してください。また、授業を行う私たちも、授業内容を工夫したり、多くの方が躊躇なく教室へ入れるような配慮をしたりしていくことが必要だろうと考えます。

懇談会（保護者会）については、重い課題を感じています。参加される人数が少ないという現実です。年度初め・終わりに行っている学校説明会もPTA総会も、多くの方に参加していただきたいと考え、同日に開催していますが、それでも、PTA運営委員のみなさん以外の方の参加者はごくわずかです。やはり内容の工夫が必要なのだろうと考えますが、保護者のみなさんの参加意識も高まっていただければと思います。今は保護者も忙しい時代ですが、いろいろやりくりして学校に来ていただければうれしいです。

## 舞台発表の場

一昨日、「戸塚っ子いきいきアートフェスティバル 第19回ステージ発表」を見に戸塚公会堂へ行ってきました。このイベントは、区内の小・中学校、高等学校がステージ発表をする舞台です。年間2回行っており、今年で10周年を迎えました。中学校や高等学校では、吹奏楽部や合唱部、小学校では特別合唱クラブが出場している学校が多いのですが、ダンス、和太鼓といったジャンルで出場する学校も見られます。

本校では、毎年、和太鼓クラブが参加しています。今回の発表でも、迫力あるすばらしい演目を披露してくれました。終わった後に会場から大きな拍手をいただいた瞬間、応援に行った私たちも、嬉しい気持ちでいっぱいでした。他の学校の発表もすばらしかったです。子どもたちの感想を聞く時間はもてませんでした。が、「あんなにきれいな歌声で歌えるといいな」「すばらしいダンスだったな」と心の中で思ったことでしょう。

合唱、ダンス、吹奏楽、和太鼓。どれも集団（チーム）でのパフォーマンスです。チームとしてのまとまり、高まりを意識しながら、一人ひとりが自分の役割を演じることが求められます。それがはつきりかたちになって表れたときに「美しい姿」となっていくのです。観客が多い場ほど、緊張感も大きくなりますが、終わった後の達成感も大きくなります。

舞台での発表の場は子どもたちにとって必要だと再確認したフェスティバルでした。

